

聖書

聖書は、創造者なる神の「知恵、知識、真理の宝庫」

「直ぐな心で (ヨシエル)」、聖書に向かう者は多くの宝を見つけ、何よりも神に出会う

詩篇 119 : 7、エペソ人 6 : 5 「真心から」、マタイ 13 : 44-46

しかし、深く知ること「知識」をどれほど積んでも、信じ委ねる「信仰」には至らない

- 2 ダイナミックな多角的、立体構造：神の視点
- 6 究極的に立証される神のすべての言葉  
真理は人生の諸問題の解決策

2016年から2017年

☆ヘブル暦5777年

☆ヘブル語では、数詞「五」は 'ה (ヘイ)'

数詞の「七」は 'ז (ザイン)'

☆5777年は「霊の戦いの年、霊で神を賛美する年、霊的成長、強化のため<sup>きんてい</sup>剪定する年」

イスラエルの地平線上で見られる巨大な満月

☆2016年10月から12月にかけて連続的に三ヶ月間現れる満月のうち、11月14日のは超最大級

☆七十年ぶりの三連続の超大の満月は、戦いの連打、戦いのラッパを象徴

☆2017年11月23日、あるいは、ロシュ・ハシャナ（主の例祭の「ラッパの祭り」）の後、

木星が「おとめ座」から出る → 『一人で学べるキリストの啓示、ヨハネの黙示録』補注14 参照

☆ヘブル語アルファベット 'ザイン' は「戦い、霊の武器」を象徴

☆ 'ヘイ' は、神を顕す四文字 'YHWH (ヤーウエ) ' の中の二文字

☆ ① 神の啓示を暗示、② 神の息を象徴

☆ 人の魂の五次元に言及

☆ 詩篇91篇は、「戦い」の詩篇

文中一つもアルファベットの 'ザイン' がないが、三個の 'ザイン' 構成の飾り文字が存在

→ 詩篇91篇を朗読時、繰り返される 'ザイン' は霊的武器

神の言葉によって、敵に勝利することができる！



☆ 「神の言葉」は私たちの武器

敵サタンは、聖書を信じるキリスト者をひどく恐れ、おびえる！

☆ マラキ書4 : 4の冒頭は、ヘブル語聖書では、大きな活字の 'ザイン' で始まる

→ 「思い起こせ、記憶せよ」に力点

数秘術による「777」の因子

☆ 11月9日に、第四十五代目米国大統領として勝利したドナルド・トランプ氏

☆ 1946年6月14日生まれのトランプ氏に、「777」の因子を適用すると、2017年1月21日

⇨ 「トランプ氏、2017年1月21日から、終日、大統領職に就任」は神のご計画！

→ 8 本物の写し、影

この世は仮の世

「現実」の再吟味

☆ 真理の書、聖書の主張は？ エペソ人6 : 12

私たちの目に見えない世界、霊的領域の生きものに言及

## 聖書

☆科学的<sup>はんれい</sup>凡例

## ★水素原子

密で堅い核の大きさと電子雲の大きさは1：10<sup>15</sup>の比

## ★原子核と原子全体と同じ比率をこの世に適用

→私たちが生き、見ているこの世は、「からの空間」

聖書の主張、「見えるものは一時的、見えないものは永遠」

コリント人第二4：18

## 私たちの三次元世界の実体

☆この世の次元は「より大きな現実の影」に過ぎない

## へブル人11：3

私たちは御言葉を信仰によって理解

## コリント人第一15：44-49

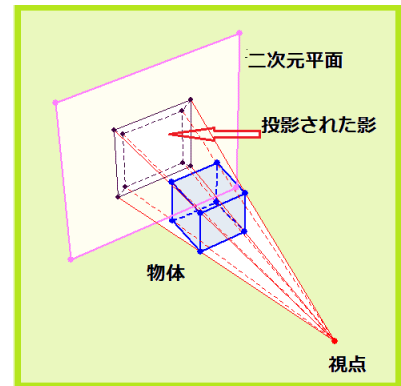
信じる者に栄光の未来を約束

「…血肉のからだがあるのですから、御霊のからだもある…

御霊のものはあとに来るのです…第二の人は天から出た者です

…私たちは土で造られた者のからだを持っていたように、

天上のかたちをも持つのです」



## ダニエル書10：1-14

## ペルシャとの闘い

：12-13 「…初めの日から…ペルシャの国の君が二十一日間、私に向かって立っていた…」：

★神に敵対するこの世の組織、諸国の背後でサタンが働き、暗闇の力を及ぼしている

## ペルシャの国の君による妨害

1. ペルシャ政府のだれかがゼルバベルに神殿再建を許可する命令を出すことを阻んだ

2. イスラエルの主天使、天界の戦士ミカエル（21節）が助っ人としてやって来て、

「ペルシャの王たちのところに残った」（13節、NIV）

3. 天界では、大きないくさ」（1節）、壮絶な戦いが続いていた

⇒天の御使いは、人には見えない霊の領域で、神に忠実な者たちをサタンや墮天使、悪霊から守るため、日夜働いている

## 黙示録12章

## 女とその子ども

☆「ひとりの女」を太陽、月、星で描写

☆イスラエルの族長ヨセフの夢の中で、

星はイスラエルの十二部族、太陽は父ヤコブ（イスラエル）、月は母ラケルを象徴

☆神の民イスラエルを「子を産み出す苦しみを体験する民」として描写

⇒この女はイスラエルの民を象徴、「男の子」は約束のメシヤ、イエス・キリスト

## イザヤ書66：7

「彼女は産みの苦しみをする前に産み、陣痛の起こる前に男の子を産み落とした」

①1948年5月14日の突然のイスラエル国家誕生によってこの預言が成就

地上にメシヤによるイスラエル国家再興で究極的に成就

→『一人で学べるイザヤ書とゼカリヤ書』参照

②キリストは再臨によって究極的な神の国シオンを産み出す前にすでに

初臨によってこの世に生まれておられたと解釈

†イスラエルに約束されたメシヤの「二度の来臨」を示唆している意義深い預言

聖書

列王記第二6：8-17

見えない戦いを一瞥

シリヤ王ベン・ハダデ、イスラエルとの国境で、攻撃を計画

王のすべての計画を超自然的に知ることのできるエリシャの存在に言及したくんだり

：16「私たちとともにいる者は、彼らとともにいる者よりも多い」：

人には見えないが実在の天の軍勢、地上の目に見える軍勢力よりはるかに大きな力

：17「主がその若い者の目を開かれた…」：

主はイスラエルを守るべく、アラム軍を取り囲み、完全に支配しておられた

---

エペソ人6：10-20

私たち、キリストを信じる者のこの世での死に物狂いの戦い

：10「…主にあって、その大能の力によって強められなさい」（下線付加）：

☆命令形

☆現在時制

☆受動態

「力…強められ…」：

「抵抗を克服する力」

→「主の強い力で、主によって引き続き強くされなさい

：11「悪魔の策略に対して立ち向かう…ために、神のすべての武具を身に着けなさい」：

命令形、信徒は神の完全な武具を身に着ける責任がある

「武具」：

★戦いが始まる前に、「完全に武装しなさい」

★私たちキリスト者はすでに敵の縄張りの中にいる！

：13「…堅く立つことができるように、神のすべての武具をとりなさい」：

完全に武装し、立ち向かいなさい →11節と同じ

パウロが挙げた武具のリスト

真理の帯、正義の胸当て、福音の備え、信仰の大盾、救いのかぶと、御霊の剣、重砲

☆おそらく、パウロ自身の体験に由来

鎖につながれたとき、パウロの視点からは、兵士がキリストを語る自分から離れることができないため、パウロは多くをキリストに導いた

☆パウロのリスト、ヘブル語（旧約）聖書から引用

---

イザヤ書59章

☆不思議な神の武具は、ご自分とは相容れない「悪」に対する妥協を許さない「拒絶」

☆この世の諸悪に迎合することなく断固として立ち向かっていくことが、

主の御旨に従った生き方

☆神ご自身が身に着けられた武具を用いてのみ、私たちはこの世にあって勝利を得ることができる

☆私たちが主の武具で武装するとき、敵に報復してくださるのは背後におられる神ご自身

→霊の目、霊の心で、肉の目では見えない神の守りを見るべき

聖書

: 14 「では、しっかりと立ちなさい。腰には真理の帯を締め、胸には正義の胸当てを着け」 :

†「真理」は私たちが切望すべき最も貴重な宝

†何であれ価値ある目標達成への鍵

†真理を追い求めることは最高の挑戦

「腰には真理の帯を締め」 :

†ローマ人の帯、15-20cmもの幅

†身体に着けるすべての武具と武器はこの帯に取りつけられた

†「言葉と行いが一つになるとき」が「真理」の定義、  
神の約束の成就（言葉なる神の受肉）が究極的な真理

→ヨハネ14:6

「胸には正義の胸当てを着け」 :

†ローマ人の胸当ては青銅で、生命にかかわる部分が守られた

†神の執事として管理すべき最も重要な仕事は何か？

自分の心の管理

: 15 「足には平和の福音の備えをはきなさい」 :

靴、すね当ても兵士の武具の一部

: 16 「…信仰の大盾を取りなさい…悪い者が放つ火矢を、みな消すことができます」 :

†ローマ人の盾、矢を吸収するため、亜麻布と皮で上張りされていた

†戦い前、すべての穴をふさぐ時間と努力が必要

⇨信仰の中のどんな穴をもふさぐのは今

: 17 「救いのかぶとをかぶり、また御霊の与える剣である、神のことばを受け取りなさい」 :

†サタンへの猛攻撃に対し、最強力な防衛は「救い」

†信徒は究極的な勝利「救い」を確証

†要求される、永遠の保障「救い」、一聖霊によって封印— に対する揺るがない信仰

→テモテ第二1:12

「御霊の与える剣である」 :

☆ローマ人、両側が研がれた、両刃の剣を使用

☆使いこなすには、訓練と経験が必要

「神のことば」 :

☆キリスト、悪魔の試みに遭われたとき、御言葉の剣を三回用いられた

☆心に蓄えられた神の言葉は、罪の危険から我が身を守る 詩篇119:11

重い大砲

☆戦いのとき、相応しい支援は、—「祈り」—

: 18 「①すべての祈りと願いを用いて、②どんなときにも御霊によって祈りなさい。そのためには絶えず目をさまして、③すべての聖徒のために、忍耐の④限りを尽くし、また祈りなさい」（下線付加、①～④はギリシャ語の「すべての」） :

☆引き続く祈りの必要を強調

真剣に、粘り強く、習慣的に続けること

☆パウロ、締めくくりの言葉19、20節で

自ら列挙した武器の最後「大砲」、一祈り—を、自分自身のために懇願